



本部の立ち上げのため、関係機関と連絡調整



飲料水袋の扱いを習いました

もしも、災害で水道が使えなくなったら…

8月27日、カルチャーセンターで日本水道協会北海道地方支部主催の第9回災害時相互応援訓練が行われ、関係自治体職員や小学生など約200名が参加しました。

震度6弱の地震が起きたことを想定して、災害本部の立ち上げや漏水した水道管の応急復旧対応、給水車での給水などを行いました。

給水車が訪れた東小学校では、4年生77名が防災教育の一環として体験。配布された6ℓの水が入る非常用飲料水袋に給水車からの水を受け取ったり、飲料水袋を運ぶなどを体験。「思ったより軽い」などとグラウンドを駆ける様子も見られました。

お団子、おいしくな一れ

9月5日、なないろ児童館で月見だんご作りが行われました。

なないろ児童館では、いろんなことにチャレンジする時間の「かたつむりタイム」を毎週土曜日の午前中に設けています。

今回は、「中秋の名月」ということで月見だんご作りを計画。ボランティアスタッフが下準備した白玉団子を自分でゆでて、練り餡・しょうゆ餡・ごま餡など好みのたれに絡めて味わいました。



白玉団子をお湯へ入れるときは、そーっとね

茂みの中までごみがないか確認



まちをきれいに

8月25日、大滝小・中学校の児童生徒が小中合同事業で学校周辺の清掃活動を行いました。

これは、児童生徒間の交流を深めることと地域貢献のために今年から始まった行事です。

約30分間の清掃活動後、小学校の児童代表が「普段話せない中学生と交流できて良かった」と感想を述べ、中学校の生徒代表は「ごみを1つでも減らせるようにひとり一人意識して生活しましょう」と呼びかけるなど、充実した活動になったようです。

聖ヶ丘病院で避難訓練を実施

9月16日、聖ヶ丘病院で防火避難訓練が行われました。聖ヶ丘病院では、職員研修を兼ねて年に2回避難訓練を実施しています。

今回は約100名の職員が参加。防火担当者から院内に設置されている消防設備についての説明を受けた後、リハビリステーションからの出火を想定した避難訓練を行いました。

参加した病院の職員は、初期消火や患者の搬送訓練を行うなど、「もしも」の事態に備えていました。



患者の搬送訓練の様子

市長から記念品などが手渡されました



祝！まなびの里パークゴルフ場 来場者10万人

9月12日、まなびの里パークゴルフ場の来場者が10万人を数えました。

平成24年6月の開場以来、多くのパークゴルファーに愛されている当ゴルフ場。その10万人目になった舟岡町の菊地正さん・美喜子さんご夫妻は「驚きました。ここはロングが打ちやすくて歩くには最高です」。また、指定管理者の有珠振興会三品会長は「起伏のある、楽しめるコース。立地条件もいい」とこれからの入り込みにも自信をのぞかせていました。



みんなで力を合わせて… 楽しさがふくらみます

9月9日、伊達西小学校の5年生55名が、総合的な学習の授業の中で「伝える」ことを学びました。

富良野演劇工場太田竜介工場長とパントマイムの若林幸樹さんを講師に、じゃんけんを使ったゲームや人文字、人間知恵の輪などを体験。児童たちは初めて目の前で見るパントマイムに驚きの表情を見せました。

太田工場長からは「今日体験してもらったゲームはどれもみんなでするからこそ楽しさも増えることを感じてほしい。人と人とのかわり合いが大事」との話がありました。

子どもたちは終わったあとも2人の講師とじゃんけんをするなど楽しみました。



パントマイムも体験



ずいずいずっころば〜し